

会員だより

バルト三国

(リトアニア、ラトビア、エストニア)旅行記(その二)
〜平和に導いた軌跡〜

日本ではここ十数年前から「日本のシンドラー」として知られる様になり、映画も2度された杉浦千畝氏の勤務していたのはリトアニアのカウナスであると



杉原千畝氏の執務室
ビザを発行した机・ペン他

1940年7月29日ナチスのユダヤ人迫害から逃れる活路として日本通過のビザを求めるユダヤ人に対し、杉浦千畝氏は日本外務省の訓令に背いて、人道上の観点からビザを発行し、

合計約1600名に、家族を推定すると6000名のユダヤ人の命が救われたと言われている。... 彼らの母校の早稲田大学の人達によって記念碑が建てられ、周囲には日本から持ってきた桜の木が植えられていた。... 記念館は当時の執務室が再現され、彼がビザを発行した机、ペン、タイプライター電話等が置かれていた。... 記念館の維持の為に募金箱にお土産にそぼの花の蜂蜜を買った。...



十字架の丘の入り口に立つイエスキリスト像が大きい

リトアニアで特に世界的に観光地になっているのが「十字架の丘」である。丘と言っても10mもない周辺数百メートルの低い台地である。

そこに古そうなもの、新しいもの、豪華なもの、シンの聖地である。... プルなもの、キリスト教のみならず、イスラム教、仏教的なもの取り交ぜ、ぎっしりと重なるように十字架が立ててある。... 1831年、1863年、ポーランド人とリトアニア人がロシアの圧政に対して蜂起し、いずれも失敗に終わったが、その犠牲になつた人の家族が遺体の代わり



世界一背の高い聖オレフ教会

9日間、バルト三国に残る美しい中世の城や教会や街並みの中で独立への歴史に浸った。... 旅行中、西日本では豪雨による大災害があり、少し心苦しい思いで家路についた。... 記・写真... 山田 昭子 上村サト子



味WAY

刀豆と斜め薄切り

刀豆の福神漬け

家庭で作る刀豆の簡単福神漬け

会員の神田さんから刀豆(なたまめ)の大きな白い種を頂き、菜園で2本育ちました。

8月お盆を迎える頃、長さ20センチ、幅5センチの大きな緑色のさやが出来ました。さやを斜めに薄く切ると「あ、この断面をどこかで見た、そうだ、福神漬けで見る断面だ!」と思いました。まだ白い花が数個咲いています。

作り方を調べて冷蔵庫の中にある野菜で作りました。

1日置いたら美味しい福神漬けが出来ました。

材料: なす2個(皮をむく)、きゅうり1本、刀豆(大)1本、人参(小)1本、生姜(小1個 細かく切る)、山椒の実少々 出し昆布(細く切り少々)

調味料: 醤油大さじ6、砂糖大さじ6、酢大さじ2

作り方: 刀豆は斜め薄切り、さつとゆがく 材料の総重量は約600グラムを同じ大きさに切り、塩(大さじすりきり1)をまぶして、30分置く。

水分を少し捨ててジップロックに入れる。 合わせ調味料をよく混ぜてひと煮立ちし冷ます。 材料の上から回しかけて冷蔵庫で保存、1日置くと味が浸みて美味しいです。

記・写真: 中川加奈子